

伊場 勇議員

資料1

# 山口県立おのだサッカー交流公園

施設紹介

利用申し込み

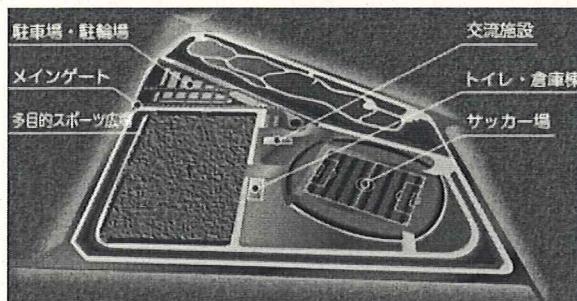
利用料金

イベント・大会

申請書

アクセス

問い合わせ



山口県立サッカー交流公園は、サッカーを中心としたスポーツの振興を通じて「スポーツによるまちづくり」を進めるため、その拠点として整備した施設です。天然芝のサッカー場(1面)のほか、人工芝の多目的スポーツ広場(サッカーコートとしては2面使えます)、芝生広場、外周園路などがあり、誰もが気軽に訪れ、利用することができます。

## 施設案内



山口県立おのだサッカー交流公園

今日 2019年12月 ▾

12月 1日  
スポーツ少年団

2

3

4

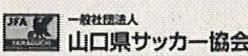
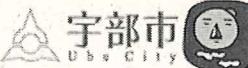
5

6

7

YFAキッズサッカーレノファスク

## リンク



交流施設(研修室)



高校サッカーフェスティバル

予定を表示するタイムゾーン: 日本標準時

Calendar

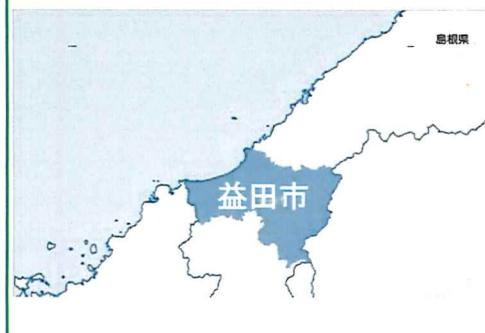
# 一般社団法人益田サイバースマートシティ創造協議会

【地方公共団体:益田市 民間事業者等代表:一般社団法人益田サイバースマートシティ創造協議会】

- 働き手・担い手である若者の流出や地域産業の衰退が顕著となり、土砂崩れによる道路寸断や河川増水の監視など社会インフラの維持、増加する耕作放棄地とそれに伴う鳥獣被害等が課題。
- 市内に敷設されている光ファイバー網を活用したIoT基幹インフラシステムを構築することにより、監視センサーの活用等によるインフラ維持管理の大幅の効率化等を図り、効果的な防災計画や維持管理計画を構築。新技術を活用した新ビジネスの創出や人的交流の拡大を図る。

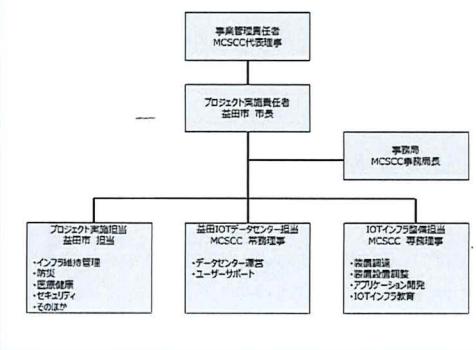
## ◆対象区域

島根県益田市全域



## ◆事業実施体制

課題ごとにWGを官民で構成し、プロジェクトを推進



## ◆新技術・データを活用した都市・地域の課題解決の取組

### 道路管理の負担軽減

- ・公用車に設置した道路モニタリングセンターによりデータ収集を行い、IoTデータサーバーにおいて公開
- ・道路管理利用とあわせて道路データとして研究開発に活用



### 鳥獣被害の効果的な監視

- ・農家との連携によりIoTインフラに接続した監視センサーを設置し、鳥獣監視のデータ化と効率的駆除を目指す

### ◆2019年度の主な取組

- ・公用車に設置した道路モニタリングセンサーによる道路データの収集
- ・市内用水路水位センサー、鳥獣監視センサーのIoTネットワークへの接続

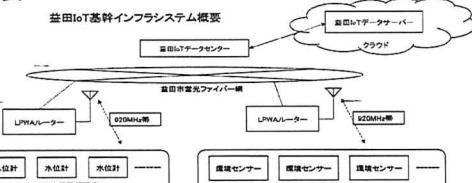
### 水路水位モニタリングの効率化

- ・水路水位センサーに環境センサーを実装し、IoT基幹インフラに接続
- ・データ基盤により他の水位センサーとの連携による浸水予測システムを検討



### 益田IoT基幹インフラの構築

- ・市の光ファイバー網を活用し、地区公民館へのLPWA(Low Power, Wide Area Network)の設置によりワイヤレスのメッシュネットワークを構築
- ・各IoTセンサーデバイスやヘルスケアデバイスが本ネットワークに接続
- ・複数領域のデータ利活用のためのデータ利活用プラットフォームを実装



# 中山間地・自立モデル検討コンソーシアム

【地方公共団体:広島県 民間事業者代表:マツダ株式会社】

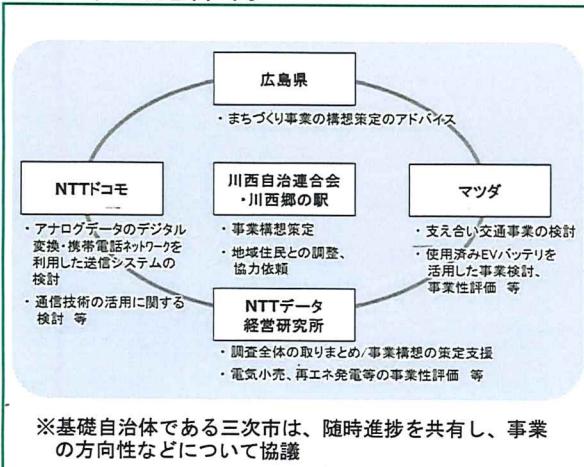
- 高齢化や生活交通の縮小、担い手減少などの課題を抱える中山間地域において、地域関係者の自主的な活動を通じた経済面、環境面からの持続可能な地域づくりが課題。
- 三次市川西地区では、地域住民出資による事業体「(株)川西郷の駅」が主体となって持続的な施設運営に取組んでおり、民間事業者は技術的な支援を実施。住民主体の事業とデータ利活用による高付加価値ビジネスの展開により中山間地域の持続可能な社会を実現。

## ◆対象区域

三次市中心部から約15km南部に位置する  
人口1,131人の地区



## ◆事業実施体制



## ◆新技術・データを活用した都市・地域の課題解決の取組

### エネルギーの地産地消

- ・地域に存する再エネ資源(太陽光やバイオマスなどを含むマルチソリューション)の活用によるカーボンフリー電力と中古EVバッテリーの蓄電池としての再利用を組みあわせた電力サービスの構築
- ・(株)川西郷の駅が地域電力小売事業者となり、電力小売を行うことも含めた事業化を検討

### モビリティサービス

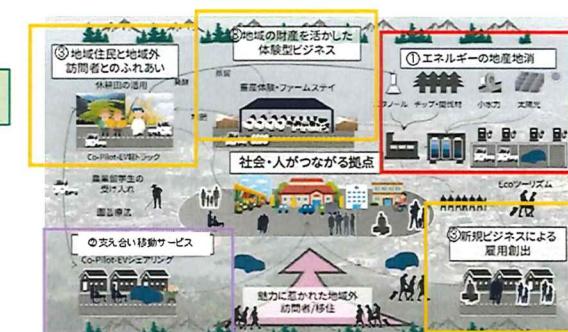
- ・地域住民による「支え合い移動サービス」において、利用車両をEVとし、地域に存する再エネの活用により、燃料費の削減、カーボンフリーの移動サービスを構築
- ・安全、安心な機能を搭載した自動車の活用により高齢者のボランティアドライバーでも安心してサービスに参加
- ・貨客混載輸送を視野に入れ、移動・輸送サービスの発展を図る

### 地域の財産を活かしたインバウンド促進

- ・地域の資源を活かした体験型のサービスの提供や新機ビジネスによる雇用創出や地域経済の活性化を図る

### データ利活用高付加価値ビジネスへの展開

- ・電力消費データの収集により、在宅の有無を判断することができ、モビリティサービス、貨物搬送サービスにおいて効率化を図る
- ・カーボンフリー電源を充電したバッテリー配達サービスでは、遠隔モニタリングにより、効率的な電源交換を図る
- ・これらのデータのオープン化を検討



## ◆2019年度の主な取組

- ・地域住民による支え合い移動サービスの継続・発展
- ・再エネ資源と中古EVバッテリーを活用した再エネ発電システムの構築に向けた取組及びビジネスモデルの構築

## ●今後の方向性（総務省資料より）

- ・共通のインターフェースにより、様々な分野における既存のシステム、プラットフォームとの接続やデータ相互の運用性を確保する。
- ・広域での低コストかつ効率的な基盤構築に向けた周辺自治体や同じ課題を抱えた自治体間でのプラットフォームの共有化が必要である。

## ●宇部市の取り組み

- ・スマートコミュニティ構想策定（平成 26 年 3 月）
- ・「うべ産業共創イノベーションセンター志」開設（平成 30 年 7 月）特設 HP 有り
- ・「宇部 SDGs 推進センター」開設（平成 31 年 4 月）特設 HP 有り
- ・スマートシティ推進本部を設置（令和元年 11 月 18 日）
- ・「スマートシティシンポジウム 2019 うべ」開催予定（令和元年 12 月 14 日宇部市主催）

## ●スマートシティ官民連携プラットフォーム

### スマートシティ官民連携プラットフォームの構成

